

2 電子黒板に関するアンケート調査結果(教師対象)

(1) 目的

電子黒板の活用について教師の意識や実態を把握し、電子黒板活用のあり方を検討し、今後の改善に反映させる。

(2) 調査期間 平成22年10月22日(金)～27日(水)

(3) 調査対象者 本校教師14名

(4) 調査方法

電子黒板の使用頻度、授業での活用場面、活用して指導する力、活用の手応えなどについて、無記名による回答を依頼した。

<項目③の4段階の評価のとき>

a・・・「とてもできる」
b・・・「ややできる」
c・・・「あまりできない」
d・・・「ほとんどできない」

<項目④の5段階評価のとき>

5・・・「よくできた」
4・・・「ややできた」
3・・・「ふつう」
2・・・「あまりできなかった」
1・・・「まったくできなかった」

(5) 調査項目とその結果

① 「電子黒板をどの程度活用していますか？」 【使用頻度】

ほぼ毎日	週に1～3回程度	月に1, 2回程度	学期に1回程度	未使用
2	6	5	1	0

② 「今まで電子黒板を、主にどのような授業場面で活用してきましたか。(複数回答可)」

【活用場面】

A 拡大・縮小、動かすなどの視覚効果を用いることで理解が深まる場面	13
B 実物投影機(書画カメラ)等で、生徒の作品や手元の操作の様子を示すことで理解しやすくなる場面	5
C 生徒が目線を上げて集中して話を聞くようになる、授業のテンポがよくなる場面	8
D 教師が書き込みながら説明することで生徒が授業内容を理解しやすくなる場面	10
E 隠しておいた情報を見せることによって理解が深まる場面	6
F 電子黒板に板書や生徒のノート・作品を保存して、続きの授業で活かせる場面	1
G 小グループで電子黒板を使いながら生徒の話し合い・教え合いが促進される場面	2
H 生徒が相手に分かりやすく発表するのに効果がある場面	2
I その他	0

③ 「電子黒板の使用目的と提示方法について自己評価し、A～Eの項目ごとに、a～dのうちから1つ選んでください。」 【活用して指導する力】

(a.とてもできる b.ややできる c.あまりできない d.ほとんどできない)	a	b	c	d
A 学習に対する生徒の興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	4	8	2	0
B 生徒一人一人に課題を明確につかませるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	1	8	5	0
C 分かりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	4	9	1	0
D 生徒の技能を向上させるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	2	8	3	1
E 学習内容をまとめる際に生徒の知識の定着を図るために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを分かりやすく提示する。	4	8	1	1

④ 「これまでの電子黒板を使った授業実践について、A～Fの項目ごとに、1～5のうちから1つ選んでください。」 【活用した手応え】

5・・・「よくできた」、4・・・「ややできた」、3・・・「ふつう」

2・・・「あまりできなかった」、1・・・「まったくできなかった」

	5	4	3	2	1
A 電子黒板を活用することで、学習に対する興味をもたせることができましたか？	2	8	4	0	0
B 電子黒板を活用することで、授業に集中させることができましたか？	0	11	1	1	0
C 電子黒板を活用することで、授業でやるべき課題をしっかりと把握させることができましたか？	2	5	7	0	0
D 電子黒板を活用することで、説明を分かりやすくすることができましたか？	1	12	1	0	0
E 電子黒板を活用することで、学習内容を理解させることができましたか？	0	12	1	0	0
F 電子黒板を活用することで、生徒同士の考えを理解させたり、考えを深めたりすることができましたか？	0	4	7	3	0

※合計数が合わないのは未記入があるため

(6) 考察

以下に、調査結果から感じたこと、気付いたことを箇条書きにまとめる。

- ① 校内技術研修会を実施したり、その都度、情報教育主任を中心に電子黒板や書画カメラ、複合機等の基本的な操作の仕方および活用方法について学んだりしたことで、多くの教師が操作ができる状況になってきた。
- ② 視覚効果が高く、興味・関心や集中力をもたせることに効果的であるなど、電子黒板の特長をとらえ、毎時間のように活用している教師もおり、だいぶ利用頻度が増えてきている。
- ④ 教科の特性上、活用が難しかったり、教師自身の取組状況に差があったりするなど、電子黒板は使っても実際の指導にどう効果的に生かせるかは、引き続き今後の大きな課題であると考えられる。
- ⑤ 生徒が電子黒板を使って説明したり、発表したりする活用場面が少なかった。今後は生徒同士の考えを共有し、深めることをねらいとして活用する工夫を図っていく必要がある。